

心血管カテーテル 治療専門医更新申請（2024） マニュアル

2025年5月ver.

申請期間：7月12日（土）～8月12日（火）

申請方法：資格申請システムより全データアップロード

※Google Chromeでの閲覧を推奨しています。
ブラウザのバージョンは、いずれも最新版を利用してください。

■ 申請の概要

申請の流れ	p.3
更新対象者	p.4
更新申請条件	p.5
提出内容	p.8
単位取得の対象と単位数	p.9
CVIT会員システムログイン後操作手順	p.11

■ 提出書類

心血管カテーテル治療専門医更新申請書	p.14
症例登録事業レジストリー 参加登録宣誓書	p.15
更新単位について	p.16

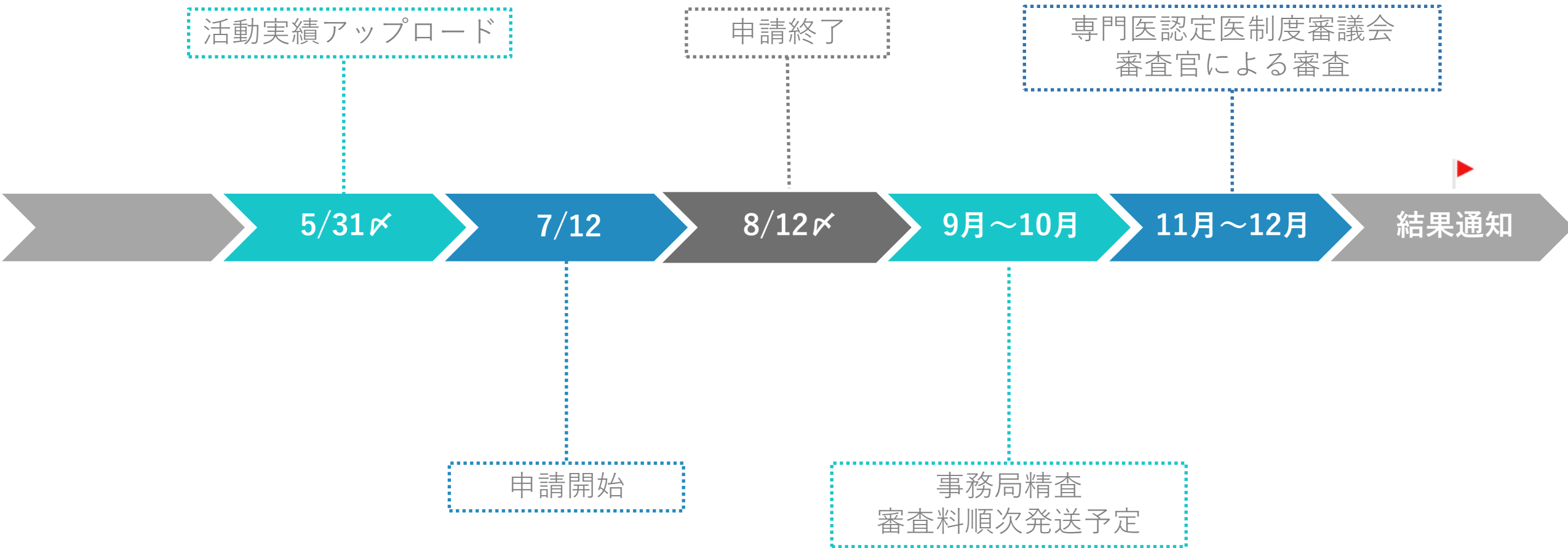
■ カテーテル治療実績の登録

集計期間の選択	p.19
NCDへのアクセス認証	p.20
治療実績の集計	p.21
治療実績の提出	p.22
提出書類（任意）	p.26
判定と症例提出	p.27

■ 申請書の提出・受付

申請書の提出・差し替え	p.28
申請前の注意事項	p.29
申請書の提出	p.30
申請書受付	p.31

申請の流れ



【重要】

COVID-19の感染拡大の影響に伴い認定期間に2020年が含まれる先生方の更新申請は1年ずつ後ろ倒しをしております。

https://www.cvit.jp/_assets/documents/news/2022/0207-2.pdf

日本心血管インターベンション治療学会の会員であり、以下の認定期限の心血管カテーテル治療専門医および資格留保延長期限の心血管カテーテル治療専門医の方が対象です。

以下の（変更後）の認定期限の方が申請対象です。

（変更前）

- ・ 認定期限：2023年12月31日
- ・ 更新時期：2024年



（変更後）

- ・ 認定期限：2024年12月31日
- ・ 更新時期：2025年

※対象者以外のご申請は、申請対象外として取り扱いをさせていただきます。

CVIT専門医認定医制度新规定（第7項）より抜粋（1/2）

■心血管カテーテル治療専門医の資格更新条件は以下とし、更新は5年毎とする （更新条件）

- ① 本学会に所属していること。
- ② 心血管カテーテル治療専門医は**6年間※1**で250症例以上のカテーテル治療経験があり、J-PCI、J-EVT/SHD（外科領域レジストリー含む）レジストリーに参加し、施行した症例の全例登録を行っていること。※2
250症例のうち150例は指導的介助者としての治療経験で可とする。指導的介助者は1症例につき1名とする。また、250例のうちシャントPTAは25例まで認める。尚、研修施設群の運用のための細則で定める施設群指導医は、指導する1施設につき、上半期（1月～6月）、下半期（7月～12月）それぞれ最低1回の指導を行うことで、指導的介助者としてPCI 5件を行ったとみなす。但し、審議会への申請とその承認を必要とする。また、複数の施設群指導医が1施設を指導した場合は、その主担当指導医のみの適用とする。
- ③ 認定後**6年間※1**に本学会および関連学会が主催する学術集会、本学会が認定した学術集会、学術講演会、研究への参加と、学会発表または学術論文掲載により、心血管カテーテル治療専門医は更新単位50単位を取得しなければならない。尚、研修施設群の運用のための細則で定める施設群指導医は、指導する施設数にかかわらず、上半期（1月～6月）、下半期（7月～12月）それぞれ最低1回の指導を行うことで、5単位を付与する。但し、審議会への申請とその承認を必要とする。また、複数の施設群指導医が1施設を指導した場合は、その主担当指導医のみの適用とする。

50単位のうち、以下の2つを必須とする。
 - ・放射線防護講習会：1単位（1単位を超える分はカウントしない）
 - ・医療安全・倫理講習会：1単位（1単位を超える分はカウントしない）
- ④ 認定後**6年間※1**に、本学会が主催する教育セミナー（eラーニング）指定講座を受講しなければならない。

CVIT専門医認定医制度新规定（第7項）より抜粋（2/2）

- ⑤ 心血管カテーテル治療専門医の資格更新申請の手続きには、定められた様式の他に、以下のものを提出しなければならない。
- ・学術集会、講演会に参加したことを証明する参加証の写し
 - ・発表者を証明するプログラムの写し
 - ・論文タイトルのページの写し
 - ・放射線防護講習会に参加したことを証明する参加証の写し
 - ・医療安全・倫理講習会に参加したことを証明する参加証の写し（日本循環器学会および審議会が認めた放射線防護講習会および医療安全・倫理講習会に参加した場合は、参加したことを証明する参加証の写しで可）
 - ・本学会が主催する教育セミナー（e-ラーニング）指定講座の受講（視聴ログが記録されるため提出書類は不要）
- ⑥ 心血管カテーテル治療専門医は資格更新が不可能となれば、審議会に資格を返上しなければならないが、認定医の資格は更新申請を行うことで維持できる。
- ※1 COVID-19の影響による救済措置では、2019年1月1日～2024年12月31日までの6年間の参加単位および症例数が、今回の更新時にカウントされます。
- ※2 2025年1月1日以降の参加単位は、次回更新時にカウントされます。

●本学会が主催する教育セミナー（e-ラーニング）指定講座の受講
（視聴ログが記録されるため提出書類は不要）

【以下の手順より、指定10講座の受講が必須です】

CVITホームページ（<https://www.cvit.jp/specialty-system/e-learning.html>）内より、e-ラーニングシステムにログインいただき、
＜専門医認定医制度 教育セミナー（2025年度更新対象者用）＞の 카테고리より、視聴を開始してください。
視聴後、必ず終了テストを受講し、合格されますと受講修了となります。

【更新対象者専用の受講講座】



- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. PCIの合併症と対策の講座 | 2. 特殊病変に対するPCI CTO |
| 3. 殊病変に対するPCI分岐部 | 4. 特殊病変に対するPCI左主幹部 |
| 5. PCIの合併症 ステンツ再狭窄 | 6. PCIの合併症No flow |
| 7. PCIの合併症 デバヱス脱落抜去困難 | 8. PCIの合併症ステント血栓症 |
| 9. PCIの合併症 穿孔 | 10. PCIの合併症造影剤腎症 |

※視聴ログを用いて受講管理を行いますので、修了証のご提出は不要です

① 心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書

② 症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書

③ 更新単位（認定期間内に参加・発表した分で、計50単位が必須）

事務局で「受理」された活動実績およびCVIT総会、地方会、一部の研究会など、会員証をバーコードで読み取り、参加登録、視聴ログ、参加ログを行っている分が表示されます。

④ **6年間※**で250症例以上のカテーテル治療の治療経験(認定期間以降の施行数は、次回更新時にカウントされます。)

- ・ NCDデータベースに完了承認済で登録されている症例を自動集計し審査します。
- ・ 自動集計の対象は、認定期間内に施行した症例です。
- ・ 2017年度以降のJ-PCIレジストリー未登録症例の救済はありません

※COVID-19の影響による救済措置では、2019年1月1日～2024年12月31日までの6年間の参加単位が、今回の更新時にカウントされます。

単位取得の対象と単位数 (1/2)

日本心血管インターベンション治療学会 専門医認定医制度審議会 【更新】対象者（CVIT認定医、心血管カテーテル治療専門医、名誉専門医）向け活動実績一覧表

申請方法・・・資格申請システム (<https://member.cvit.jp/entrance/default.html?path=%2Fdefault.html>) の活動実績へアップロード

形式	単位取得の対象	主催団体		単位数	必須
1.参加・受講	1) 本学会 学術集会	本学会	2017年開催分まで	8単位	
			2018年開催分以降	10単位	
			教育セミナー（2013年から2016年）	1会/1単位	
			教育セミナー（2017年開催分以降）	1日/1単位	
		本学会地方会		3単位	
	2) 関連学会が行う学術集会	日本内科学会		3単位	
		日本循環器学会		3単位	
		日本心臓病学会		3単位	
		日本フットケア・足病医学会 （2019/6/30まで日本下肢救済・足病学会）		3単位	
		日本心血管画像動態学会（2016年より）		3単位	
		American Heart Association(AHA)		3単位	
		American College of Cardiology(ACC)		3単位	
		European Society of Cardiology(ESC)		3単位	
		Transcatheter Cardiovascular Therapeutics(TCT)		3単位	
		Paris Course on Revascularization(PCR)		3単位	

単位取得の対象と単位数 (2/2)

	3)本学会が認定または後援		* 講演会を伴うライブデモンストレーション ～1日	1単位	
			* 講演会を伴うライブデモンストレーション ～2日	2単位	
			* 講演会を伴うライブデモンストレーション ～3日 (2017年11月17日以降に認定)	3単位	
			* * ライブデモンストレーションを伴わない研修会 ～1日	1単位	
			* * ライブデモンストレーションを伴わない研修会 ～2日	2単位	
		* ライブデモンストレーションの主催者がライブ委員会へ申請し、取得単位の承認を受ける * * 研究会の主催者が専門医認定医審議会へ申請し、単位取得の承認を受ける 1つの会合において、ライブとライブを伴わない研究会のどちらも開催する場合は、主催者の判断でいずれかの申請 をすること。重複しての申請は認めない。			
	4) 本学会及び、 本学会が認定した講習会	本学会	放射線防護講習会	1単位	必須 (放射線防護講習会、 医療安全・倫理講習会 各1回/5年)
			医療安全・倫理講習会		
		日本循環器学会	日本循環器学会の医療安全・医療倫理に関する講演会		
		日本医学会	日本医学会総会の医療安全・医療倫理に関する講演会		
2.発表	5) 本学会 学術集会	本学会	座長および発表	2単位	
		本学会地方会		1単位	
3.論文	6) 論文掲載 (筆頭著者)	本学会	Cardiovascular Intervention and Therapeutics (本学会学会誌)	5単位	
			他のインターベンション関連学会誌 (別表)	3単位	
	7) 論文掲載 (共著者)	本学会	Cardiovascular Intervention and Therapeutics (本学会学会誌)	2単位	
			他のインターベンション関連学会誌 (別表)	1単位	

CVIT会員システムログイン後操作手順①

【2025年6月2日以降、最新の認定情報が正しく表示されている方】

メニュー

会員情報

基本情報

請求・支払情報

資格情報

役員経歴

委員会経歴

学会活動

認定医・専門医・
名誉専門医・ITE

資格申請
審査
レジストリー登録症例確認

学会情報・論文

お知らせ
会報
議事録
会員規定
英文誌(仮)掲載情報

資格情報 一覧

資格 (認定区分)	認定番号	認定日	認定期間 (自)	認定期間 (至)	留保等	操作
認定医 (更新)	F10005	2018-01-01	2023-01-01	2027-12-31	いいえ	詳細

認定医 〜2027-12-31

資格更新

認定医更新申請(2027)

申請期間外

単位の取得状況

学会参加・発表・論文単位

ライブデモンストレーション単位

放射線防護講習会単位

医療安全・倫理講習会単位

新規・その他申請

認定医留保申請(2027)

申請期間外

【新規】第17回 心血管カテーテル治療専門医新規申請(2025)

申請

第18回 専門医新規申請(2026)

申請期間外

認定資格に基づき、更新申請ページが表示されます。
申請受付期間中に【申請】ボタンを押下し、
手続き開始してください。

※申請受付期間になると申請ボタンが表示されます

更新申請の年に手続き可能な申請種類が表示されます。
必要に応じて、【申請】ボタンを押下し、
手続き開始してください。

CVIT会員システムログイン後操作手順②

【2025年6月2日以降、認定情報が未表示または過去認定情報までの場合】

メニュー

会員情報

基本情報
請求・支払情報
資格情報
役員経歴
委員会経歴

学会活動

活動実績
回答依頼
CVIT TV
配信情報
出演者用

認定医・専門医
名誉専門医・ITE

資格申請
審査
レジストリー登録症例確認

議事録
会員規定
英文誌 (SpringerLink)
和文誌
抄録集

認定医・専門医・名誉専門医・ITE 資格申請 一覧

検索条件...

◀ 先頭 | ◀ 前へ 1~9 / 9件中 次へ ▶ | 末尾 ▶

名称

資格申請を開始する

開始する資格申請を選択してください。

【新規】 第17回 認定医新規申請(2025)
【更新】 認定医更新申請(2024)
【留保】 認定医更新留保申請(2024)
【新規】 第17回 心血管カテーテル治療専門医新規申請(2025)
【更新】 心血管カテーテル治療専門医更新申請(2024)
【留保】 心血管カテーテル治療専門医更新留保申請(2024)
【移行】 名誉専門医移行申請(2024)
【更新】 名誉専門医更新申請(2024)
【留保】 名誉専門医更新留保申請(2024)

① 「資格申請」を選択

② 「資格申請を開始する」を押下

③ 開始する資格申請を選択

資格申請はご自身の資格情報に紐づけされておきませんので、
本年の申請受付を行っている資格が全て表示されます。
該当の申請のみを選択し、申請を開始してください。

12

CVIT会員システムログイン後操作手順③

専門医更新申請 申請 (提出中)

申請対象

申請期間

ステータス 提出中

提出物

提出項目	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書	❶ 未提出	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	❶ 未提出	詳細
学会参加・発表・論文単位	❶ 未提出	詳細
ライブデモンストレーション	❶ 未提出	詳細
放射線防護講習会単位	❶ 未提出	詳細
医療安全・倫理講習会単位	❶ 未提出	詳細
カテーテル治療実績	❶ 未提出	詳細

提出項目	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書	❶ 未提出	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	❶ 未提出	詳細
学会参加・発表・論文単位	❶ 未提出	詳細
ライブデモンストレーション単位	❶ 未提出	詳細
放射線防護講習会単位	❶ 未提出	詳細
医療安全・倫理講習会単位	❶ 未提出	詳細
カテーテル治療実績	❶ 未提出	詳細

連絡事項

※事務局へ連絡事項がありましたら
こちらへ入力し、【連絡事項を保存する】を
クリックしてください。

連絡事項を保存する

❶ 未提出の項目があります。



ステータスの初期表示は「未提出」です

❶未提出 ❷提出済 ❸不足

のいずれかが表示されるようになっています

提出項目ごとに「詳細」を選択し、
申請書類のダウンロードと、アップロードを行ってください

※この時「Ctrl + クリック」で別タブが開きます

申請を中止したい場合は、【この申請を中止する】を
クリックしてください。

専門医更新申請 心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書 (未提出)

- 申請日は忘れずに記入してください。
- 医籍番号は必ず医師免許証を確認の上、記入してください。
- 所属先名・所属先住所・所属先電話番号・自宅住所・自宅電話番号・メールアドレスは、会員情報に登録の情報を記入してください。
- 会員情報の変更がある場合、必ず手続きを行ってください。

記入様式

ダウンロード

①申請書類のダウンロード



提出書類

参照... フォーム

②申請書類に必要事項を入力後、PDFに加工しアップロード

※差し替えは何度でも可能です

※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

PDFファイルを提出
アップロード可能な
再度アップロードし

お手元の回線状況によっては「フォームの有効期限が切れています」エラーが表示される場合があります。
お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試しく
ださい。

提出する

③【提出する】をクリック

専門医更新申請 レジストリー参加登録誓約書 (未提出)

- 申請時に在籍している施設より証明を取得してください。
- NCD診療科長氏名は自署もしくは記名（自署以外の印字やゴム印など）の場合は押印が必須です。
- 申請者自身がNCD診療科長の場合は本人の自署でも問題ございません。

記入様式

ダウンロード

① 申請書類のダウンロード



提出書類

参照...

ファイル

② 申請書類に必要事項を入力後、**PDF**に加工しアップロード

※差し替えは何度でも可能です

※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

PDFファイルを提出して
アップロード可能なフ
再度アップロードした場

お手元の回線状況によっては「フォームの有効期限が切れています」エラーが表示される場合があります。
お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試しく
ださい。

提出する

③ 【提出する】をクリック

各詳細をクリックすると、活動実績事前登録システムにて受理された各単位が表示されます。

- ・ 活動実績未登録、または事務局棄却・未受理分は次の詳細画面に反映されませんのでご注意ください。
- ・ 単位不足がありましたら、CVIT事務局（senmoni@cvit.jp）へご連絡のうえ、新たにご登録ください。

提出項目	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書	❗ 未提出	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	❗ 未提出	詳細
学会参加・発表・論文単位 ①	❗ 未提出	詳細
ライブデモンストレーション単位 ②	❗ 未提出	詳細
放射線防護講習会単位 ③	❗ 未提出	詳細
医療安全・倫理講習会単位 ④	❗ 未提出	詳細
カテーテル治療実績	❗ 未提出	詳細

①～④は
同じ操作です

更新単位について

学会参加・発表・論文単位 (未提出)

活動実績事前登録システムにて受理された以下の単位分が表示されます。
表示される期間：

(COVID-19に伴う認定期間変更のため6年間)

- CVIT学術集会、CVIT地方会、CVIT教育セミナー、関連学会学術集会、ライブデモンストレーションを伴わない研修会
- CVIT学術集会（座長・発表）、CVIT地方会（座長・発表）
- CVITおよび認定団体／論文掲載（筆頭著者、共著者）
- 更新対象者（CVIT認定医、心血管専門医）

提出済みの単位

未提出です。

初回は「未提出です」と表示されています

最新の情報

6単位を取得しています。

単位の取得状況

種別	主催者	名称	単位
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について1 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について2 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について3 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
加算される提出済みの他単位 (下記の各項目は、それぞれの項目を提出するまで反映されません)			
ライブデモンストレーション単位			0
放射線防護講習会単位			0
			0
(合計)			6

「提出する」をクリックしてください

提出する

活動実績で受理された単位が表示されています

17

更新単位について

学会参加・発表・論文単位 を提出しました。

学会参加・発表・論文単位 (提出済)

活動実績事前登録システムにて受理された以下の単位分が表示されます。

表示期間: (COVID-19に伴う認定期間変更のため6年間)

提出済の単位として表示されます

会、CVIT地方会、CVIT教育セミナー、関連学会学術集会、ライブデモンストレーションを伴わない研修会

会（座長・発表）、CVIT地方会（座長・発表）

CVITおよび認定団体/論文掲載（筆頭著者、共著者）

更新対象者（CVIT認定医、心血管カテーテル治療専門医、名誉専門医）向け活動実績一覧表

提出済みの単位

ご提出いただいた6単位は申請基準を満たしていません。

活動実績を追加登録し、受理された後、提出データを更新してください。

単位の提出状況

種別	主催者	名称	単位
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について1 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について2 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の症例について3 CVIT学術集会(CVIT事務局)	2
加算される提出済みの他単位			
ライブデモンストレーション単位			0
放射線防護講習会単位			0
医療安全・倫理講習会単位			0
(合計)			6

カテーテル治療実績の登録 | ①集計期間の選択

専門医更新申請

カテーテル治療実績 (未提出) 治療実績集計

集計期間の開始日および終了日にご自身の「現在の認定期間」を入力して治療実績を集計してください。

集計期間	現在の認定期間
開始日	2019-01-01
終了日	2024-12-31

ご自身の「現在の認定期間」を入力

CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、
チャーターまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。

【治療実績を集計する】をクリック
NCDとの認証開始

治療実績を集計する



National
Clinical
Database

CVIT 資格申請

一般社団法人National Clinical Database

認証 NCDへのアクセスを認証するため、下記の本人確認情報を入力してください。

CVIT事務局からの重要なお知らせ

入力した医籍登録番号によって登録症例を検索・集計し、当学会に提出頂きます。

CHECK!

以下の場合は、申請手続きが大幅に遅れますので、ご注意ください。

- ・学会に登録した医籍番号に誤りがある場合：CVIT会員情報の変更手続きが必要
- ・NCDに登録した医籍番号に誤りがある場合：NCD登録症例の修正手続きが必要

必ず医師免許証をお手元に、正しい医籍番号を入力してください。

に従い除名処分となる場

例修正希望の連絡両方が

氏名 川内 真美

生年月日

医籍登録番号

手入力

手入力

必ず✓

☐ 上記の医籍登録番号が相違なく私、川内 真美の医師免許証に記載されたものであることを誓約します。
万が一、誤った医籍登録番号を入力していた場合、意図的に虚偽の申請を行なったとみなされ、資格申請の取消、資格の喪失、学会からの除名などいかなる措置にも異議の申し立ては行いません。

実行

Copyright © National Clinical Database. All Rights Reserved.

- NCDレジストリー登録において、CVIT領域の「J-PCI」、「J-EVT/SHD」に登録された完了（承認済）の症例を自動集計しております。
- CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、資格申請時に該当のレジストリー登録画面のキャプチャーまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。
- レジストリー登録は、UMINからNCDへ登録システムが移行しております。
そのため、PCI 2012年以前、EVT/SHD 2013年以前 の症例(UMIN登録)は施設・診療科・患者背景が表示されません。
- UMINの登録時にあった項目でも、現在は他学会領域に移管となったために検索できない領域があります。
会員が登録した全ての領域の症例数が確認できるものではありませんので、予めご了承ください。
例：TAVI、ステントグラフト等（NCD外科領域レジストリー）
- 治療集計一覧において、「分類不可」に含まれる症例は以下のとおりです。
 - >UMIN登録症例にてCVIT領域以外で登録されていた症例（現在NCD登録対象外）
 - >NCD登録症例にて「その他（SHD）」を選択された症例（現在の入力項目対象外）

カテーテル治療実績の登録 | ③-2治療実績集計

 **NCD** National Clinical Database

CVIT 資格申請

一般社団法人National Clinical Database

治療実績集計

医籍登録番号
集計期間

手技分類	主術者	指導 医師
PCI		6
EVT		1
EVT (シャントPTAを除く)		0
EVT (シャントPTA)		0
TAVI / BAV		0
心房中隔欠損閉鎖術		0
経皮的中等心筋焼灼術 (PTSMA)		0
経カテーテル肺動脈分枝治療		0
動脈管開存 (PDA)		0
慢性血栓性肺動脈高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術 (BPA)		0
僧帽弁閉鎖不全症		0
SHD		0
経皮的VSP閉鎖		0
経皮的冠動脈閉鎖閉鎖術		0
経皮的LAA閉鎖術		0
潜性脳梗塞に対する経皮的卵円孔閉鎖術 (PFO)		0
僧帽弁置換術後逆流 (PVL)		0
PTMC (僧帽弁)		0
(分類不可)		0

- NCDに登録された症例のうち、ステータスが完了(承認済)の症例のみが集計されます。
- 直近の登録・変更は即時反映されず、反映に数日かかる場合がございます。
- 施行数と登録数に大きく差異がある場合等は、必ず施行施設の診療科長および登録担当者へ登録状況のご確認をお願いいたします。
- 集計結果が0件または明らかに実際と差異がある場合、まずご自身の医籍登録番号を再確認いただいたうえで、施行施設の登録担当者に対象のNCD登録症例がご自身の医籍登録番号で術者登録されていることをご確認ください。
- NCD登録症例に誤りがあった場合、訂正の可否については [こちらからお問い合わせ](#) ください。

治療実績を提出する

症例一覧を確認する

NCDとの認証が終わると、レジストリーに登録した症例数が表示されます。

以下の表示項目に誤りがないことを確認し、画面最下部の **治療実績を提出する** をクリックしてください

CHECK!

- ・ 医籍登録番号
- ・ 集計期間（2019年1月1日～2024年12月31日）
- ・ 主術者の症例数

カテーテル治療実績の登録 | ④-1 治療実績を提出する

カテーテル治療実績 (未提出)

【申請条件／更新規定抜粋】

心血管カテーテル治療専門医は 5 年間で 250 症例以上のカテーテル治療経験があり、J-PCI、J-EVT/SHD レジストリーに参加し、施行した症例の全例登録を行っていること。

250 症例のうち150例は指導的介助者としての治療経験で可とする。指導的介助者は1症例につき1名とする。また、250例のうちシャント PTA は25例まで認める。尚、研修施設群の運用のための細則で定める施設群指導医は、指導する1施設につき、上半期（1月～6月）、下半期（7月～12月）それぞれ最低 1 回の指導を行うことで、指導的介助者として PCI 5 件を行ったとみなす。但し、審議会への申請とその承認を必要とする。また、複数の施設群指導医が 1 施設を指導した場合は、その主担当指導医のみの適用とする。

【レジストリー登録の症例で申請する場合】

自動集計の症例数をご確認いただき、申請条件を充足されていたら、提出してください。

申請前年末日

までの登録症例が有効

J-PCIレジストリー未登録症例は申請対象外

症例数の手入力は申請対象外

【外科領域レジストリーを申請する場合】

レジストリー登録症例（自動集計）で症例数が充足できない場合、外科領域レジストリーに登録した症例を申請することができます。

施行症例数を手入力欄に入力してください。

申請前年末日

までの登録症例が有効

本学会、心血管カテーテル治療の定義には含まれる外科領域レジストリーに登録されている「大動脈ステントグラフト、Structural Intervention（構造的インターベンション）、小児先天性心疾患に対するインターベンション」症例であること

※各々のレジストリー登録画面のキャプチャー提出が必要です。

【EVT/SHD未登録症例を申請する場合】

2017年以降のJ-EVT/SHDレジストリーに未登録の症例も申請可能です（2022年申請対象者まで）。

施行症例数を手入力欄に入力してください。

※「申請症例証明書」および「未登録症例（カテーテル治療経験一覧表）」の提出が必須です。

【施設群指導医インセンティブ症例を申請する場合】

CVIT事務局より送付した「研修施設群指導医 インセンティブ（単位付）通知書」を提出することで、症例の加算申請が可能です。

施行症例数を手入力欄に入力してください。

研修施設群の運用のための細則で定める施設群指導医は、指導する1施設につき、上半期（1月～6月）、下半期（7月～12月）それぞれ最低 1 回の指導を行うことで、指導的介助者として PCI 5 例を付与

★自動集計の対象：J-PCI,J-EVT/SHDレジストリー登録症例「完了(承認済)」ステータスのみ

申請条件、申請方法をご確認ください

専門医更新申請() カテーテル治療実績 (未提出) 治療実績集計

集計期間の開始日および終了日にご自身の「現在の認定期間」を入力して治療実績を集計してください。

集計期間

現在の認定期間

開始日

終了日

CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、資格申請時に該当のレジストリー登録画面のキャプチャーまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。

治療実績を集計する

集計期間
登録症例提出日時

現在の認定期間 ()

レジストリー登録症例を再提出する

「レジストリー登録症例を再提出する」をクリックすると、集計期間の選択画面に戻ることができます。集計期間の入力に誤りがある場合、こちらから修正を行ってください。

カテーテル治療実績の登録 | ④-2レジストリー登録の症例で申請する場合

自動集計の症例数をご確認いただき、症例が充足している場合、画面最下部の **提出する** をクリックし、提出を行ってください。

術式分類		主術者			指導的助助者		
		集計値	入力	事務局	集計値	入力	事務局
PCI				0			0
EVT	EVT(シャントPTAを除く)		入力 N G	0		入力 N G	0
	EVT(シャントPTA)			0			0
SHD	1 TAVI / BAV			0			0
	2 心臓カテーテル介入治療			0			0
	3 経皮的冠動脈インターベンション (PCI)			0			0
	4 経カテーテル肺動脈弁治療			0			0
	5 動脈管開存 (PDA)			0			0
	6 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術 (BPA)			0			0
	7 僧帽弁閉鎖不全症			0			0
	8 経皮的VSP閉鎖			0			0
	9 経皮的冠動脈瘻閉鎖術			0			0
	10 経皮的LAA閉鎖術			0			0
	11 潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術 (PFO)			0			0
	12 僧帽弁置換術後弁周囲逆流 (PVL)			0			0
	13 PTMC (僧帽弁)			0			0
(分類不可)				0			0
施設群指導医				0			0

症例数をご確認ください

自動集計

入力不要

自動集計

入力不要



判定基準は以下の条件です。

- 250例のうち150例は指導的助助者としての治療経験で可とする
- 250例のうちシャント PTA は25例を上限とする

シャントPTAを除く主術者	250 例
シャントPTA主術者	25 例 (合計 100 例に対し)
シャントPTAを除く指導的助助者	0 例 (合計 0 例に対し 指)
シャントPTA指導的助助者	0 例 (合計 0 例に対し シャントPTAの上限 25 例 及び 指導的助助者の上限 150 例 が適用されます)
合計 / 規定数 : 判定	275 / 250 例 : 充足

< 合計値の表示 >

※治療実績が基準を下回る場合、

合計 / 規定数 : 判定 1 / 250 例 : 不足

と表示されます。

CHECK!

レジストリー登録症例が表示されます

カテーテル治療実績の登録 | ④-3症例数を手入力して申請する場合

- ・レジストリー登録症例（自動集計）で症例数が充足できない場合、外科領域レジストリーに登録した症例を申請することができます
- ・CVIT事務局より送付した「研修施設群指導医 インセンティブ（単位付与） 通知書」を提出することで、症例の加算申請が可能です
- ・施行症例数を手入力欄してください

術式分類			主術者			指導的介助者		
			集計値	入力	事務局	集計値	入力	事務局
PCI			自動集計	入力	0	自動集計	入力	0
EVT	EVT(シャントPTAを除く)			×	0		×	0
	EVT(シャントPTA)				0			0
SHD	1	TAVI / BAV		0	0		0	0
	2	心房中隔欠損閉鎖術		0	0		0	0
	3	経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA)		0	0		0	0
	4	経カテーテル肺動脈弁治療		0	0		0	0
	5	動脈管開存 (PDA)		0	0		0	0
	6	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術 (BPA)		0	0		0	0
	7	僧帽弁閉鎖不全症		0	0		0	0
	8	経皮的VSP閉鎖		0	0		0	0
	9	経皮的冠動静脈瘻閉鎖術		0	0		0	0
	10	経皮的LAA閉鎖術		0	0		0	0
	11	潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術 (PFO)		0	0		0	0
	12	僧帽弁置換術後弁周囲逆流 (PVL)		0	0		0	0
	13	PTMC (僧帽弁)		0	0		0	0
	(分類不可)	0		0	0		0	
施設群指導医						0	0	

手入力

手入力

外科領域レジストリーに登録した症例を申請する場合

以下の書類を提出してください

外科領域レジストリー

「外科領域レジストリー」を申請する
ルに作成してからアップロードしてく

参照... ファイルが選択されていま

その他

CVIT事務局より、症例に関する指定
書類がない場合は不要です。

参照... ファイルが選択されていま

① 参照... をクリックし、PDFファイルをアップロードしてください

※この操作で何度でも差替えは可能です

※書類が複数枚ある場合、1つのPDFに結合してからアップロードしてください

③ 提出するPDFのアップロード後、保存して再計算する をクリックし、
症例数の再集計を行ってください。

保存して再計算する



カテーテル治療実績の登録 | ⑥判定と症例提出

判定基準は以下の条件です。	
250例のうち150例は指導的介助者としての治療経験で可とする 250例のうちシャントPTAは25例を上限とする	
シャントPTAを除く 主術者	250 例
シャントPTA 主術者	25 例 (合計 100 例に対し シャントPTAの上限 25 例 が適用されます)
シャントPTAを除く 指導的介助者	0 例 (合計 0 例に対し 指導的介助者の上限 150 例 が適用されます)
シャントPTA 指導的介助者	0 例 (合計 0 例に対し シャントPTAの上限 25 例 及び 指導的介助者の上
合計 / 規定数 : 判定	275 / 250 例 : 充足

< 合計値の表示 >

※治療実績が基準を下回る場合、

合計 / 規定数 : 判定 1 / 250 例 : 不足

と表示されます。



全ての入力終了したら画面最下部の **提出する** をクリックし、申請を行ってください。

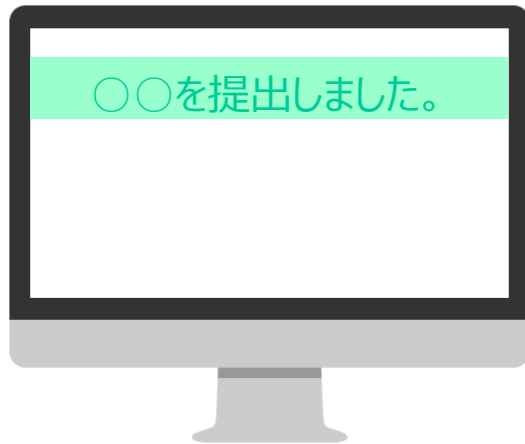
万が一、誤った内容で「提出する」をクリックしてしまった場合、提出内容を修正後、**提出データを更新する** をクリックし、再申請を行ってください。

レジストリー登録症例および提出した以下の症例が合計して表示されます

- ・ 外科領域レジストリーに登録した症例
- ・ 研修施設群指導医インセンティブ症例

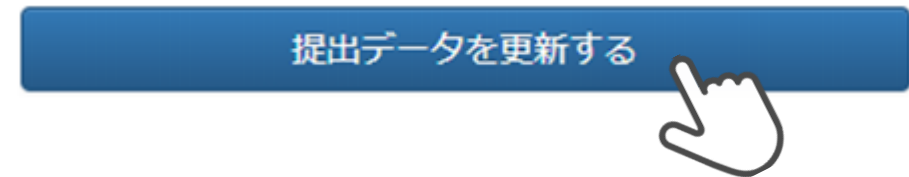
申請書の提出

各提出項目で書類をアップロード後、
提出する をクリックし、「〇〇を提出しました」
と表示されると、データは正しく受け付けられたこと
になります



申請書の差し替え

一度アップロードした申請書を差し替えたい場合には、
提出書類で差し替えたいデータを選択し直し、
【提出データを更新する】をクリックしてください



申請する

をクリックすると、データの修正・差し替えは一切できませんのでご注意ください。



- ・データの差し替えなどがある場合は、絶対に【申請する】をクリックしないでください
- ・提出書類として、問題がないことを十分に確認した後、【申請する】をクリックしてください

【申請する】をクリックしないまま申請期日を迎えた場合は、
一切の救済なく、申請は「棄却」とさせていただきます。

申請書の提出

提出物

提出項目	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書	✔ 提出済	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	✔ 提出済	詳細
学会参加・発表・論文単位	✔ 提出済	詳細
ライブデモンストレーション単位	✔ 提出済	詳細
放射線防護講習会単位	✔ 提出済	詳細
医療安全・倫理講習会単位	✔ 提出済	詳細
カテーテル治療実績	✔ 提出済	詳細

❗ 不足している項目があります。

❗ 申請中は登録内容の修正を受け付けません。
上記の内容を必ずご確認のうえ申請ください。

申請する

資格申請 一覧へ戻る

この申請を中止する

申請する

・何らかの理由により、ステータスが【不足】になっている状態でも、申請を受け付けることは可能です

・ステータスが【不足】となっているまま【申請する】をクリックしてください

・但し、事務局と事前に連絡を取り、事務局が把握しているケースの場合のみ、審査対象といたします

・データの差し替えなどがある場合は、絶対に【申請する】ボタンを押さないでください

申請しました。

心血管カテーテル治療専門医更新申請() 詳細 ()

申請対象 心血管カテーテル治療専門医

申請期間 2024-05-01 ~ 2024-05-31

ステータス 申請中

提出物	提出項目 摘要	ステータス	操作
	心血管カテーテル治療専門医資格更新審査申請書	✔ 提出済	詳細
	レジストリー参加登録誓約書	✔ 提出済	詳細
	学会参加・発表・論文単位	✔ 提出済	詳細
	ライブデモンストレーション	✔ 提出済	詳細

申請ステータス「申請中」になるまで操作をお願いいたします。
申請受付終了後、「提出中」ステータスのままの場合、
申請は受付できません。
※一切の救済はなく、申請は「棄却」とさせていただきます。

これで心血管カテーテル治療専門医更新申請が終了です。
申請ステータス「受付・再提出・棄却」のいずれかに変更があった場合、no-reply.cvrit@architector.jp より、会員情報に
登録のメールアドレス宛に送付されます。本文詳細はメール文に記載のURLをクリックし、必ず確認してください。